

(1)

書き初め会

1年生

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

いちばんいい字がかけたよ

一年 ○○○○○ ○○○○○

おとうさんに、「しんぱいしていらうまい字はかけないよ」といわれたので、金しようをとるぞとおもってかきました。「を」や「と」のさいごが下がらないように気をつけたら、いちばんいい字がかけました。

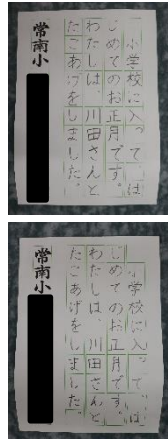
2年1組

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

はじめての金しよう

二年一組 ○○○○○ ○○○○○

金しようになるために、字形だけでなく、それぞれの文字の中心が



ずれないように気をつけました。本番は、ちゅういすることを思い出しながら、ていねいに書くことができました。来年のしゅう字も、金しようをとれるようにれんしゅうしていきたいと思います。

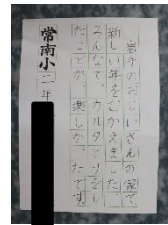
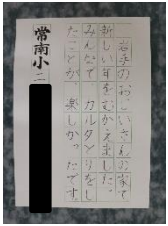
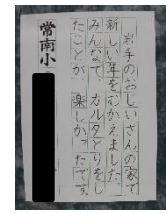
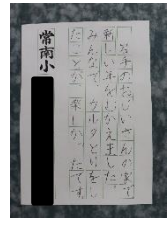
2年2組

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

れんしゅうがんばったよ

二年二組 ○○○○○ ○○○○○

一年生のとき、しようにをとれなかったので、冬休みにたくさんれんしゅうをしました。書き初め大会で、書きおわたった後の字を見たら、とめ・はね・はらいに気をつけて書くことができましたので、うれしかったです。来年は、しゅう字になってむずかしくなるので、たくさんれんしゅうをして、金しようをとりたいです。



3年生

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

どきどきした書き初め

三年 ○○○○○ ○○○○○

今年から習字の書き初めになって、じゅんびしている時からドキドキしました。じゅんびが終わって、先生が、「始め!」と言って筆を持ってすみをつけようとしたら手がふるえましました。気持ちの中ではドキドキしていませんつもりだったけど、体はしてるんだなと思いました。自分の中ではしつかり書くことができたので、よかったです。



▲低字年硬筆

4年生

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

今年こそ、金賞をとる

四年 ○○○○○ ○○○○○

一、二年生のときは、銀賞すら取れませんでした。そして、三年生からは毛筆です。ぼくは、えんぴつより、筆の方が得意だと思ったので、「書き初め大会で金賞をとりたい」と思ってがんばりました。しかし、結果は銀賞で、すごくやさしかったです。今年こそはと思いい、休み中もたくさん練習しました。そのかいあって、今年は金賞が取れました。すごくうれしかったです。がんばってよかったです。



5年生

- 【金賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- 【銀賞】○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○

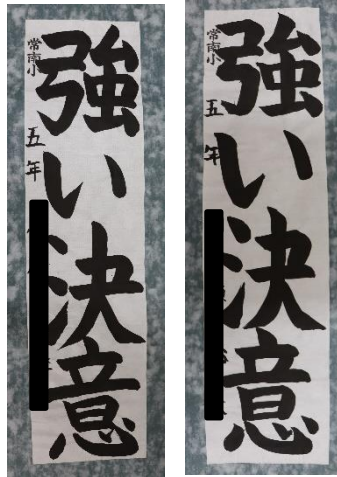
五回連続

五年 ○○○○○

三学期の始業式の日、書初め大会がありました。私にはいっぱいライバルがいます。だから今年は、金賞は取れないと思っていました。

本番が来ました。胸がどきどきしています。少しあきらめかけていたけど、一番うまく書けた作品をていしゅつしました。

金賞が発表されました。結果は、私と裕大くんでした。去年もこの二人だったので、びつくりしました。来年も二人で金賞がとれるように今から練習したいです。



6年生

- 【金賞】 ○ ○ ○
- 【銀賞】 ○ ○ ○



▲中・高学年毛筆

つかみとった金賞

六年 ○○○○○

ぼくの目標は金賞をとることです。絶対にとつてやると思っていました。字のバランスや大きさなど、気を付ける点がたくさんありましたが、一ヶ月前からただひたすらに練習に取り組みました。当日、手の震えとたかひながら、教えてもらったことを思い出して書くことができました。無理かもしれないと思っても練習を続ける大切さを学びました。



冬休みの思い出

いつものように

三年 ○○○○○

ぼくの家は毎年十二月三十一日になると、岐阜県に住んでいるおばあちゃんの家に行つて夜ごはんは年こしそばを食べていますが、今年初めて自分の家で年をこしました。家でお母さんが作ってくれた年こしそばはとてもおいしかったです。来年はコロナのканせん者がいなくなつて、またおばあちゃんの家で新年を迎えたいです。

新しいもち作り

四年 ○○○○○

冬休みにおばあちゃんの家で、もちを作りました。と言っても、おばあちゃんの家に着いたときには、もうもちがつき上がっていました。では、何をしたのかというと、フルーツ入りのおもち作りです。つき上がったもちの上にあんこをのせて、さらにイチゴやバナナのせて包みます。

冬の思い出

五年 ○○○○○

私の冬休みの思い出は二つあります。一つめは、ペットのウサギが、生まれて初めて雪とふれあつて、うれしそうにしていたことです。かわいさをみて私もうれしくなりました。二つめは、学校のクリスマスツリーの点灯式に行つたことです。その日は雪が降つていてクリスマスツリーがとてもきれいでした。来年も小池先生がツリーを作ってくれるとうれしいです。また今年は、雪が降つたけれどあまり積もらず、かまくらがつもるといいです。

部屋がきれいに

六年 ○○○○○

冬休みに掃除をしました。わたしはそうじが好きじゃないので、めんどろだなど思いながら始めました。最初に掃除機をかけ、机をふきました。やつてみると他のところの汚いところが気になつてきました。やわらかい道具を使って、電球をふきました。掃除を続けていくと、部屋が少しずつきれいになっていくことが楽しくなつてきました。窓は汚れが目立つので、きれいになっていくことが分かりやすいので窓ふきが好きになりました。使うたびにぞうきんが黒くなつていくことも、これだけ自分、がんばつたんだと分かつて掃除の楽しみだと思いました。

常磐南学区 ヒストリー

常南学区の想い

民生委員 ○○○○

今より振り返ること五十七年前、昭和三十一年四月常磐南小学校に入學。折しもその年十月に東京オリンピックが開催され、学校でもオリンピックの話題で一喜一憂していた微かな記憶が蘇ります。そして、令和三年七月に再び東京オリンピックの開催が予定されています。今の児童の皆さんにもオリンピックの感動を味わい生涯に残る記憶の一つにしてほしいと思います。

ところで、五十七年もの歳月を経過すると、当然ですが常磐南小学校も随分充実した学校施設になりました。自分が卒業してからはあまり小学校に足を向けることが少なくなりましたが、昭和四十六年頃から一部コンクリート校舎への改築と校庭の拡張工事が始まり、昭和五十七年には待望の屋内運動場の完成。翌年にはプールも完成しました。しかし、残念なことに児童数の減少がおきはじめたのもこの時期からでした。平成元年には残る木造校舎が取り壊され、現在の職員室のある管理棟(当時二階三階は特別教室)が完成し、学校施設としては市街地の大規模校と同等のレベルにはなりましたが、児童数の減少は止まりませんでした。

自分も縁あって平成九年から三年間PTA会長を務めさせていただきましたが、この減少傾向には保護者や学区民も相当の危機感がありました。「このままでは、常磐南小学校が廃校になるのでは。」といった言葉が飛び交ったのも事実です。

当時、人数減少の打開策として浮上した「施設の老朽化に伴い移設予定候補地を検討していた児童養護施設米山寮」の誘致でしたが、幾多の課題調整が難航し実施には至りませんでした。自分もPTA会長という立場での板挟み状態もあって苦慮したことも思い出されます。しかし、どうにかしてという思いで当時の学区の方々のご尽力で現在のエコタウンの開発許可が認可されたこともあり、平成十九年に全校児童が三十人台という危機的な児童減少に歯止めが掛かり、現在では児童数百九十名近くにもなる学校に姿を変え逆に教室のやりくりが大変な状況も発生しているようです。

いずれにせよ、豊かな自然を生かした教育環境は、学区の誇りであり、元氣いっぱい常南っ子は、学区の宝です。今はコロナ禍で小学校に足が運べない状況が続いていますが、学区の皆さんはいつでも児童の皆さんを応援しています。校訓「力いっぱい」を忘れずにがんばってください。

常南の心

読書が苦手な子どもたちへ

四年担任 矢藤 大基



私は町の小さな本屋に生まれました。生まれたときから本に囲まれ、祖父母に読み聞かせてもらうのが、非常に楽しみでした。自分で読め書きができるようになると「本貸して」と頼んで、店の本を借りて読むようになりました。よく読んだ本は、絵本や小説ではなく、漫画です。

読み聞かせてくれたのは絵本でしたが、自分が心惹かれたのは漫画。内心、漫画以外の本をたくさん読んでほしいと思っていたかも知れません。しかし、祖父母は嫌な顔一つせず「どうぞ」と許可をくれました。そして、感想を伝えると、にこにこそれを聞いてくれました。その光景は、今でも鮮明に覚えています。

では、漫画しか読まなかったのか、というとそうではありません。学校の図書室で本を借りて読んでいたし、今でも漫画以外の本も読みます。読書は好きです。

あくまで個人の考えではありますが、私は読書への導入としては、絵が多く、内容理解のしやすい漫画は、非常に適していると思います。今の時代、漫画やアニメが小説化されることも多々あります。子どもの興味を惹くものであれば、長く分厚い小説も読み切りです。「読書」って聞くと、堅苦しい感じがしますが、もっと気楽に本と触れ合い、より多くの子が本を読む楽しさを知ってくれたら幸いです。

*2月



28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
		読み聞かせ ST		ALT	天皇誕生日				ST 学校評議員会	見守り隊感謝の会	ALT	ALT	誕生集会 委員会			読み聞かせ ST	建国記念の日	ALT	ALT	クラブ			読み聞かせ ST		標準学力検査 ALT	ALT	児童集会(図書)クラブ